

●巻頭エッセイ・春夏秋冬

しゅんかしゅうとう

歴史的大転換を画した二つの首脳会談と朝日関係  
宮古島「慰安婦」祈念碑「女たちへ」建立20周年  
「非暴力」のたたかいに込められた痕跡  
「生きる」思想が立ち上がるとき  
土本典昭逝去20年

歴史学博士  
『検証朝鮮戦争』著者  
VAW・RAC  
共同代表  
大学院生・  
沖縄戦後史  
元明治大学教員  
映画同人  
シネ・アソシエ  
川嶋ちさ子  
白宗元  
中原道子  
岡本直美  
立野正裕  
土本基子

労働者通信 労働・生活・闘争の現場から

医療労働現場に根強く存在する不平等  
闘い一生……次のステップへ  
こうして職場から団結を作り上げていく  
退職後の労働組合運動  
どうしたらサービス残業をやめられるのか

看護労働者  
元国労  
稚内闘争団  
自治体  
労働者  
東京部庁職員  
労働組合OB  
パート  
労働者  
川嶋ちさ子  
田中博  
吉良寛  
柴田清  
古賀圭

続・拉致問題で歪む日本の民主主義

トランプ政権に作った拉致問題の借りで  
自縄自縛の安倍政権

琉球大学  
名誉教授  
高嶋伸欣

ヘイト・スピーチと闘うために

植民地主義批判のための覚書き

東京造形  
大学教授  
前田朗

特集 いま、朝鮮と連帯する人々の意味

特集にあたって

本誌編集部

もっつの「俗情との結託」批判

福岡市文学館  
嘱託員  
田代ゆき

李相和の生涯と詩的営為 奪われた野にも春は来るか

元朝鮮大学校  
教授  
朴宰洙

なぜ朝鮮学校で教えるのか

カナダ・オタワ大学  
名誉教授  
ミル・チヌン

人民とともに、社会主義をめざして

元JPP労組  
全国大会議案への批判  
夏の日映画新作・話  
日本映画批評  
遠藤裕二

小特集 朝鮮民主主義人民共和国は日本国をどのように見ているか

歴史的な朝米首脳会談が行なわれた2008年6月から8月までの朝鮮労働党機関紙「労働新聞」に掲載された日本に関する論評記事から

状況2018夏

元JPP労組  
中央委員会

労働 働き方改革とJPP労組

土田宏樹

映画 交感としての大衆性

遠藤裕二

読書ノート

奥田みのり著『若槻菊枝 女の一生』

新潟、新宿ノア  
ノアから水俣へ  
文化活動家  
福岡市文学館  
嘱託員  
岡野奈保美

BOOK WATCH

『翁長知事の遺志を継ぐ』（宮本憲一・白藤博行編著）／『平和・繁栄・統一へと向かう朝鮮半島』（在日韓国民主統一連合編）／『朝鮮半島をめぐる情勢と私たち』 北東アジアの平和と繁栄のために（完全護憲の会編）

短歌 挽歌X

歌人  
加部洋祐

川柳 笑歌 七夕さま

笑い  
茸

映画再見 『キャバレー』（監督：ポプ・フオッシー）

編集者  
小松厚子

連載

今中哲二 113  
國分富夫 29  
波来土の漫画館  
イラスト通信

表紙の絵について

東日本大震災・被災  
地区復興委員だより  
金野正晴  
波来土  
広浜綾子

転形期に生まれた風刺画（河鍋曉斎）とはかに五万歳

画家  
金山明子

読者会から 東京西部 神奈川

170

デザイナーの独り言

追川恵子 176  
編集後記 176  
イラスト・金山政紀

